

スピーカーアキュライザーの活用(11) ーケーブルチューナーの追加ー

1. 始めに

インフラノイズ社のスピーカーアキュライザーSPA-7の導入後、スピーカーアキュライザーの活用(1)で報告した条件で再構成しています。今回、これらのスピーカーケーブルにケーブルチューナーを適用してみます。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7のケーブルへのケーブルチューナー適用

スピーカーアキュライザーの導入に際しては、前報(1)で1.3m長のスピーカーリベラメンテをL/R各2組を購入し、300Bシングルから直に5m長のスピーカーリベラメンテ1本でスピーカーアキュライザーに配線し、スピーカーアキュライザーから1.3m長のスピーカーリベラメンテ2本でFAL C90EXWにパイワイアリングの配線を行うように変更しました。

5m長のスピーカーリベラメンテには、既にケーブルチューナーを適用していますが、あらたに購入した1.3m長のスピーカーリベラメンテ2本には、まだケーブルチューナーを適用していません。

スピーカーアキュライザーとLANアキュライザーの感想文送付で、ケーブルチューナー2組を入手できましたので、パイワイアリングの1.3m長のスピーカーリベラメンテ2本×2組に適用します。



アナログと STAGE+から聴きなれた下記の音源を使用して試聴します。

アナログ盤

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・シオルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

ACCENTUS MUSIC KKC 1171/3(45 回転盤)

スメタナ 我が祖国

ヤクブ・フルチャ指揮バンベルク交響楽団

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

3. スピーカーアキュライザーSPA-7 のケーブルへのケーブルチューナー適用後の試験結果

追加のケーブルチューナー適用の結果は顕著とは言えませんが、次のような変化がありました。

ワーグナーのワルキューレでは、金管群の響きがよくなり、低音部が増強されたように感じられます。

ヘンデルのメサイアでは、ソリストや合唱の声の収録環境での響きが豊かになり、通奏低音が明瞭になります。

スメタナの我が祖国のモルダウでは、ディテールの再現と低音部の響きが増強され、結果としてダイレクトカッティング 45 回転盤のメリットが出てきます。

ベートーヴェンのピアノソナタでは、打鍵の後の余韻が豊かになります。

クリスマスオラトリオでは、冒頭のティンパニの打撃の余韻が明確になり、ソリストの歌唱の収録環境の残響が豊かになってきます。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」では、ホール内の残響が分かりやすくなり、コントラバスとチェロの胴鳴りが豊かになります。

4. まとめ

スピーカーアキュライザーSPA-7 のケーブルへの追加のケーブルチューナー適用の効果を、顕著とは言えないまでも明確に認めました。

以上